

災害の教訓を 未来に伝える

自然災害が起きた場所には、
その災害を記した石碑が建っていることがあります。
それは、将来起こるかもしれない災害に備えるため
先人達が残した、わたしたちへのメッセージです。



『自然災害伝承碑』とは

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害などの様相や被害の状況などが記載された石碑やモニュメントのことです。
- ◆ 主に被災場所に建てられており、それらを地図に表すことで地域住民への自然災害リスクの認識と防災意識の向上に役立つことが期待されます。



地理院地図における表示 (<https://maps.gsi.go.jp/>)

地理院地図 (電子国土WEB)

例: 駒岳 / 金沢市木ノ新保町 /

初期表示 印刷 共有 設定 ツール

水害碑

災害名: 洪水・土石流
(1907年7月15日)

水害碑

詳細説明は画像をクリック

概要

碑名	水害碑
災害名	洪水・土石流 (1907年7月15日)
災害種別	洪水・土砂災害
建立年	1910
所在地	広島県安芸郡坂町小屋浦 四丁目
伝承内容	明治40年(1907)7月15日、数日未降り続いた豪雨により天地川や総頭川で土石流が発生した。この未曾有の大災害により、小屋浦地区では43戸の家屋がつぶれ、44名の命が奪われた。 関連外部サイトへのリンク集

ID:34309-002

水害碑



自然災害伝承碑を表示し、アイコンをクリックすると画像や伝承内容を表示できます

地理院地図から分かること



この地域で明治40年におきた洪水・土石流被害を後世に伝えるために建てられた碑

再び災害が起こったことを後世に伝えるため、明治の石碑のとなりに建てられた

自然災害伝承碑の活用事例



教育現場 (広島県福山市)
校内に遺された自然災害伝承碑から当時の災害を学ぶことで、身近にある災害リスクを認識・共有



住民への周知 (広島県広島市)
市内の自然災害伝承碑の場所・概要・被害状況を記したリーフレットを配布。災害リスクの認識と防災意識の向上に活用

情報提供: 広島市

一緒に伝えていきましょう

自然災害伝承碑かもしれないものを見つけたら国土地理院中国地方測量部まで御連絡ください。

国土地理院中国地方測量部 担当: TEL:082-221-9743 e-mail:gsi-cg7-denshou@gxb.mlit.go.jp